

ちた医療・介護ネットワーク研究会

～お互いの顔が見える関係づくり～



■代表世話人挨拶

高齢者の医療や介護は、現代の大きな問題です。特に、認知症高齢者の運転事故や徘徊による事故は毎日報道されています。病院や施設でも、誤嚥や転倒などの事故も起きやすく、スタッフの疲弊が心配されます。

この会では、こうした懸念を少しでも軽減するため、関係者が一堂に会して、連携強化、情報交換を行う研修会を行っています。

多くの関係者の皆様のご参加をお願いします。



みどりの風 南知多病院
理事長 田中 誠

■当研究会の考え

医療機関と介護機関では、考え方や捉え方の違い等から「目に見えない溝」や、「距離」があるかと思えます。互いに理解をしていき、その溝を埋めていくことで、スムーズな連携や、信頼関係の構築につながり、患者・利用者様の負担や不安な思いを少しでも軽減したいと考えています。

■研究会の概要

名 称：『ちた医療・介護ネットワーク研究会』 開 催：年間2～3回

主 催：ちた医療・介護ネットワーク研究会（みどりの風 南知多病院）

参加者：介護福祉施設、老人保健施設、医療機関、グループホーム、居宅介護支援事業所、行政機関など

■研究会の歴史

平成20年7月29日

医療機関と介護施設とのこれまで以上の連携強化を目的に「医療・介護連携強化会議」として発足

平成22年2月21日

居宅介護支援事業所や行政（社協・包括）などから多数の参加希望を頂き「医療・介護ネットワーク研究会」へ名称を変更

平成28年11月17日

知多半島地域の医療と介護の包括的な連携を目的に「ちた医療・介護ネットワーク研究会」へ名称を変更